



画像や動画データの急増によって露見した既存分析ツールの問題

ZiDOMA data の導入で正確かつ多角的視点からの分析が可能に

業務で使用する画像や動画ファイルが急増。各ファイルのサイズも肥大化傾向にあり、ファイルサーバが慢性的な容量不足に陥る。現場の業務に支障をきたす恐れがあるため、ファイルの移動や削除には、細心の注意が必要に。しかし、既存の分析ツールでは十分な情報が取得できず優先順位付けが難しいという課題が発生。「ZiDOMA data」の導入で必要な情報を取得して分析を行い、現場の業務を滞らせないファイルの移動と削除が可能となる。

## 株式会社セガトイズ様



セガサミーグループ傘下の玩具メーカー。「世界中の人々にこれまでにないモノとサービスで楽しい時間と絆を提供」することを目的に、従来の枠にとらわれないエンタテインメントの新たな価値を創造し続け、商品やサービスを通じた感動体験を発信している。

### ■ 課題

業務において画像や動画データの扱いが増えファイルサーバの容量が慢性的に不足。既存の分析ツールではファイルの詳細な情報が取得できず、適切なファイルの移動と削除ができない状況に。アーカイブしたファイルはシンボリックリンクで所在を示していたが、既存ツールではリンク先のデータまで集計してしまい、ストレージの使用量が正確に測れず、適切な対応が難しいという課題も発生。

### ■ 導入メリット

「ZiDOMA data」によって、ファイルのサイズ、種類、更新頻度など、多角的な情報を元にした分析が可能となり、きめ細やかなファイル管理が実現。また、シンボリックリンク先を集計から除外する機能を利用して、正確な分析結果に基づいたストレージの管理が可能に。

## 株式会社セガトイズ様のミッション

### 扱っている商品の特性上動画のファイルが急増

キャラクターグッズや知育玩具など、多種多様な商品を開発・販売しているセガトイズ。

同社では近年、商品のパッケージデータや Web 上で展開する動画広告など、データサイズの大きなファイルが急増し、ファイルサーバの容量を常に逼迫する状態に陥っていました。

同社にてファイルサーバの管理を任されていた柴 良太氏によると「5～6年前に50%程度だった空き容量が、今はほとんど残っていない状況に」大容量のファイルサーバを新規に導入するという手段もありますが、そのためにはバックアップの体制やシステムの拡充なども必要となり、一朝一夕で進むものではありません。そのため同社では、新規にファイルサーバを導入するまでの対処方法として、業務上の優先順位が低いファイルを大容量かつ安価なアーカイブ用のファイルサーバに移動し、業務用ファイルサーバの空き容量を確保することを選択しました。

株式会社セガトイズ  
コーポレート本部  
総務部  
総務人事課  
シニアスペシャリスト  
柴 良太氏



ARI の ZiDOMA data を用いた  
ファイルサーバの正確な分析結  
果を元に適切なストレージ管理  
が可能に。



## 業務ファイルの移動・削除には細心の注意が必要 既存のツールでは対応が難しいため新たなツールの導入を検討

これまでセガトイズでは、ロイヤリティフリーのツールを使用してファイルサーバの状況を分析していました。しかし、そのツールには2つの課題がありました。

### ①ファイル移動に必要な情報が取得できない

ストレージの空き容量を確保する場合、サイズの大きなファイルからアーカイブへの移動を検討するのが効率的です。一方で、古いファイルやアクセス頻度が低いファイルを優先して移動させた方が業務への影響は少なくなります。

効率よく、かつ業務への影響を少なくするには、サイズ、作成日、アクセス頻度など、様々な情報を対比して移動の優先順位をつける必要があります。しかし、セガトイズが使用していた既存のツールでは、取得できる情報がファイルサイズのみだったため、優先順位付けに苦心していました。

### ②シンボリックリンク先のファイルまで集計されてしまう

同社では、商品ごとにデータを一つのフォルダに収納して管理しています。空き容量を確保するためとは言え、ファイルを別の場所に移動させようと、それを知らない人が「ファイルを見つけられない」という問題が発生してしまいます。その対策として同社では、ファイルをアーカイブに移動させる際にはフォルダ内にシンボリックリンクを残すようにしていました。しかし既存のツールでは、このシンボリックリンク先のデータも集計してしまうため、ファイルサーバの正確な空き容量を測ることができませんでした。

「この問題について以前からお付き合いのあった CSI ソリューションズ(以下 CSI) さんに相談したところ紹介いただいたのが ZiDOMA data でした」

## ZiDOMA data でファイルサーバの詳細情報が取得可能に

セガトイズと CSI との関係は 12 年以上、セガグループ全体では 30 年近くにもわたります。そして「我々のことを誰もよりも理解している CSI さんが勧めるのなら」と、他社商品についてはほとんど検討しなかったとのこと。

「もちろん、必要な機能が備わっているかは確認しましたが、その点についてはまったく問題なく、UI もわかりやすかったので、ZiDOMA data の導入を決定しました」

当初の予定では、2020 年 3 月に ZiDOMA data の分析版を導入してテストサーバで機能面を確認し、2020 年夏頃を目処に本番環境へと移行するこ

とになっていました。しかし、他の業務が多忙を極めたこととコロナ渦の影響によりスケジュールが遅れ、2021 年 1 月より本番環境での運用がスタートしました。

「これまでは取得できなかった様々な情報が得られるので、よりきめ細やかな対応が可能となりました。ただ、業務の特性上、ファイルを移動してよいかは私たちだけでは判断できないので、情報を対比して付けた優先順位を元に、現場にヒアリングを行って判断しています」

また、もう一つの課題だったシンボリックリンクについては、除外フォルダ機能にアドレスを登録することで解決しました。



直感的な UI が特徴的な ZiDOMA data のダッシュボード

## 理想は現場の作業員への展開 さらに使いやすいツールへの進化を期待

テスト運用から ZiDOMA data を使い続けた柴氏。その使い勝手に関しては「特に、大きな問題もなく機能的にも満足しています」とのこと。と同時に、「将来的な要望として」以下の言葉を続けました。

「現在、シンボリックリンクの作成と設定は手動でやっていますが、この手順をもう少し簡略化できる機能があれば助かります。それと、少し抽象的な表現になってしまいますが、今以上に簡単でわかりやすくなって欲しいと思っています。我々のようなシステム担当であれば、現状でも十分に使いやすいのですが、あと一歩進めれば、現場の担当者にも展開できるように。期待していますので、よろしくお願いします」

## AR アドバンステクノロジー株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-14-16 野村証券ビル 8F  
TEL : 03-6450-6080 URL : <https://ari-jp.com/lp/zidoma/>  
プロダクトセールス担当 [ari-marketing@ari-jp.com](mailto:ari-marketing@ari-jp.com)

 **A.R.I.**  
AR advanced technology, Inc